

調査分析資料

外国語

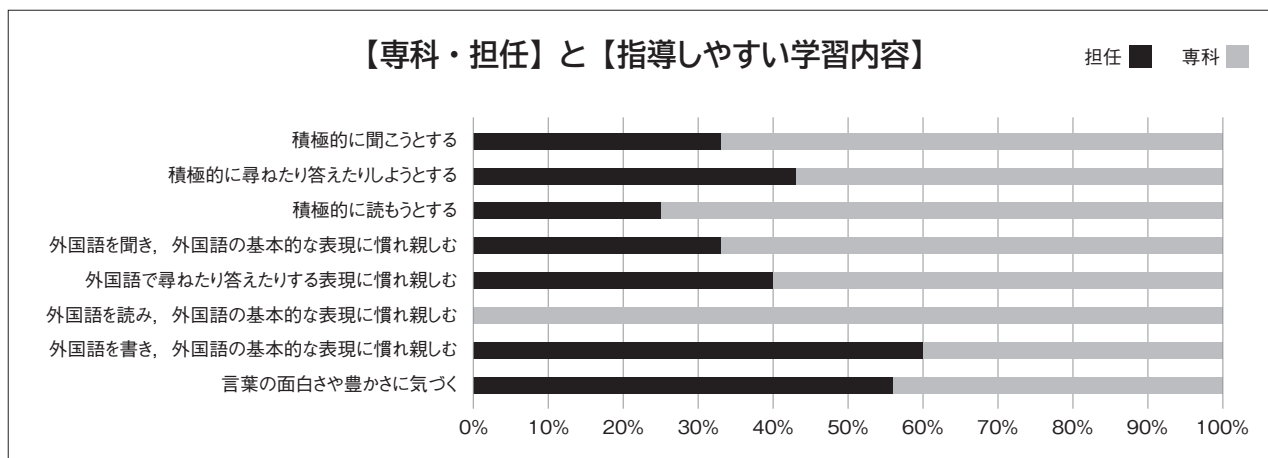
第1章 クロス集計：新時代に対応した独自の視点

DATA① 【研修関係の集計結果】と【指導しやすい・にくい学習内容、または理由】（小学校外国語）

「現在、外国語、外国語活動の授業者（T1）はどなたですか」という項目に対して回答者31人において、「専科」が19人（61.2%）、「担任」が12人（38.7%）であった。[専科・担任]と[指導しやすい学習内容]でクロス集計を行ったところ、[専科]と関連が見込まれる学習内容として、【外国語への慣れ親しみ】の「外国語を読み、外国語の基本的な表現に慣れ親しむ」、「外国語を聞き、外国語の基本的な表現に慣れ親しむ」、【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】の「積極的に読もうとする」、「積極的に聞こうとする」がみられた。これらの学習内容は、専科教員が指導しやすくなる可能性があることが推測された。

Q 現在、外国語、外国語活動の授業者（T1）はどなたですか。

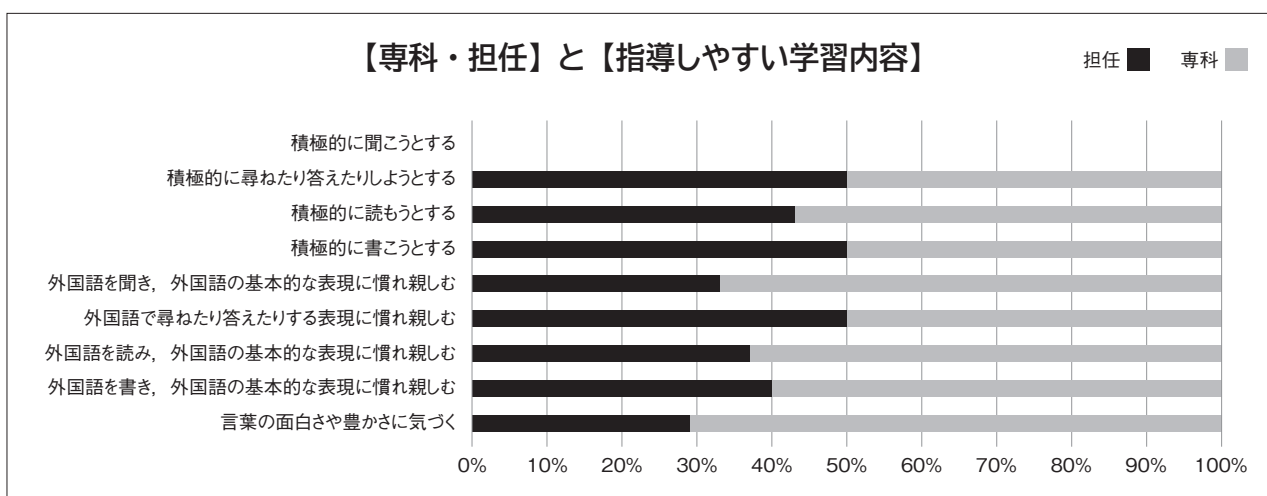
Q 授業で指導しやすいと感じる学習内容とその理由を挙げてください。（小学校外国語）



次に、[専科・担任]と[指導しにくい学習内容]でクロス集計を行ったところ、[担任]と関連が見込まれる学習内容として、【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】の「積極的に尋ねたり答えたりしようとする」、「積極的に書こうとする」、【外国語への慣れ親しみ】の「外国語で尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ」がみられた。これらの学習内容は、担任が指導しにくくなる可能性があることが推測された。

Q 現在、外国語、外国語活動の授業者（T1）はどなたですか。

Q 授業で指導しにくいと感じる学習内容とその理由を挙げてください。（小学校外国語）

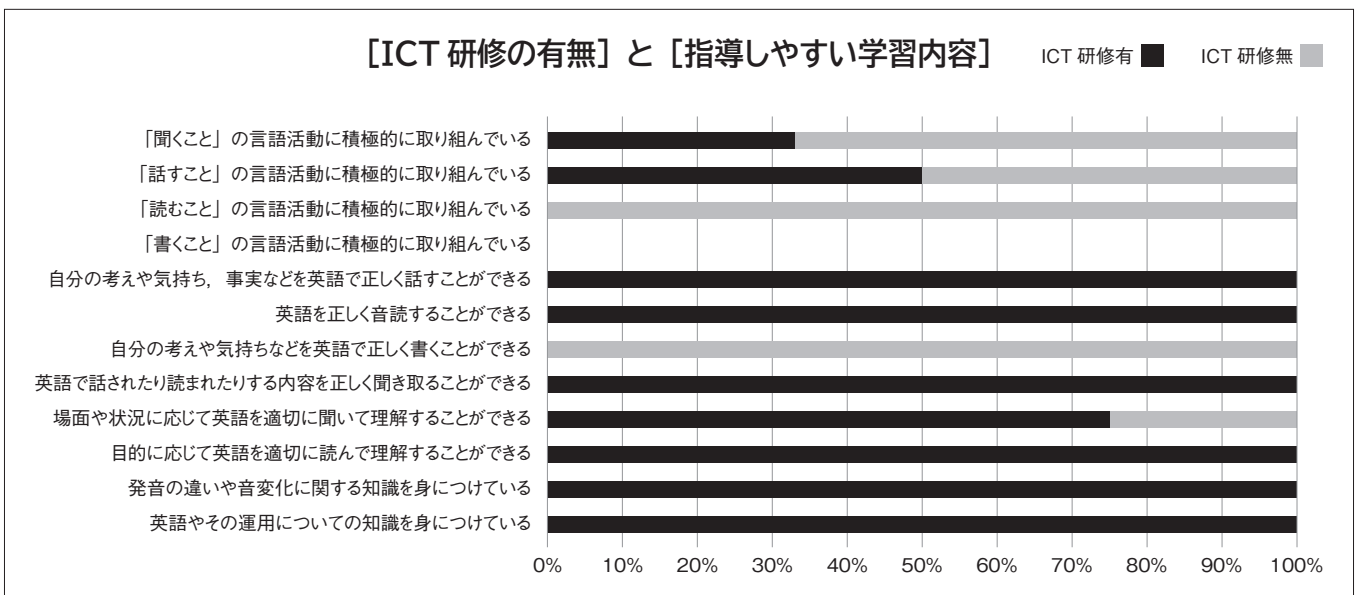


DATA② 【ICT研修の有無】と【指導しやすい・にくい学習内容】について（中学校外国語）

「過去2年間にICT教育に関する研修へ参加しましたか」という項目に対して、回答者数24人において、「はい」が14人（58.3%）、「いいえ」または「覚えていない」が10人（41.7%）であった。[ICT研修受講の有無]と[指導しやすい学習内容]でクロス集計を行ったところ、ICT研修受講有りに関連が見込まれる学習内容として、【外国語表現能力】の「英語を正しく音読することができる」、「自分の考えや気持ち、事実などを英語で正しく話すことができる」、【外国語理解能力】の「目的に応じて英語を適切に読んで理解することができる」、「英語で話されたり読まれたりする内容を正しく聞き取ることができる」、【言語や文化についての知識・理解】の「英語やその運用についての知識を身につけている」、「発音の違いや音変化に関する知識を身につけている」がみられた。これらの学習内容は、ICT研修を受講すると指導しやすくなる可能性があることが推測された。

Q 過去2年間にICT教育に関する研修へ参加しましたか。

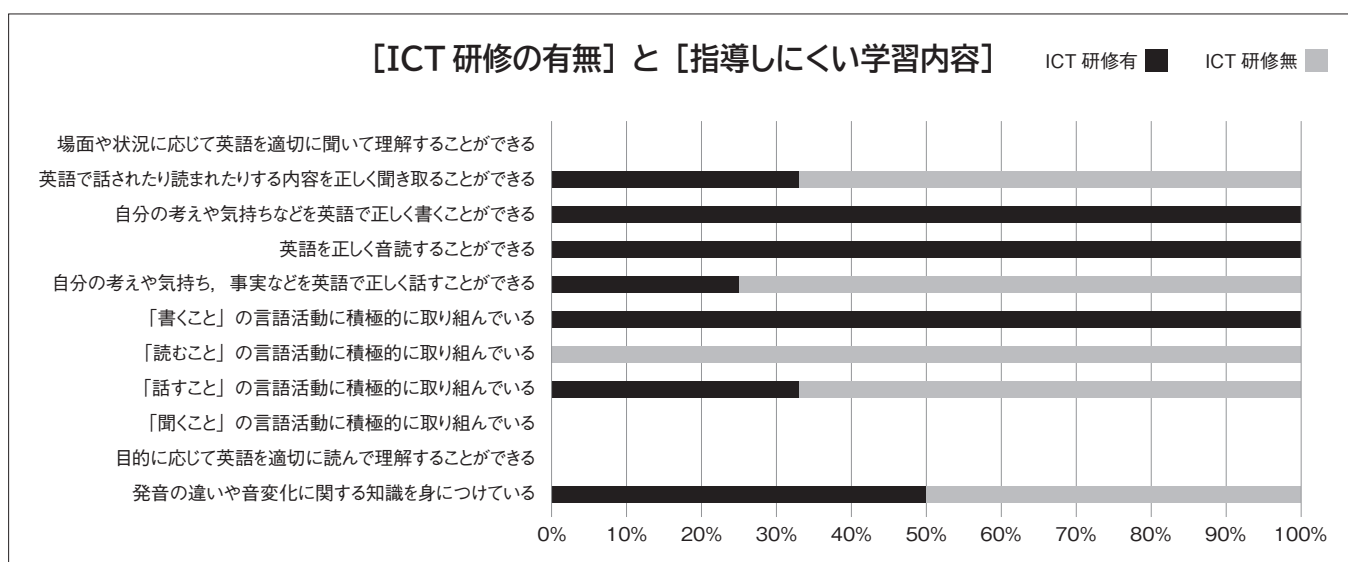
Q 授業で指導しやすいと感じる学習内容とその理由を挙げてください。（中学校外国語）



次に、[ICT 研修受講の有無] と [指導しにくい学習内容] でクロス集計を行ったところ、ICT研修受講有りと関連が見込まれる学習内容として、【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】の「『書くこと』の言語活動に積極的に取り組んでいる」、【外国語表現能力】の「英語を正しく音読することができる」、「自分の考えや気持ちなどを英語で正しく書くことができる」がみられた。「英語を正しく音読することができる」に関しては、ICT研修を受講して指導が改善されたという回答もあったため、個人差があると思われる。一方、「書くこと」の指導は、ICT 研修を受講しても指導しにくさが改善されない可能性が推測された。

Q 過去2年間にICT教育に関する研修へ参加しましたか。

Q 授業で指導しにくいと感じる学習内容とその理由を挙げてください。(中学校外国語)

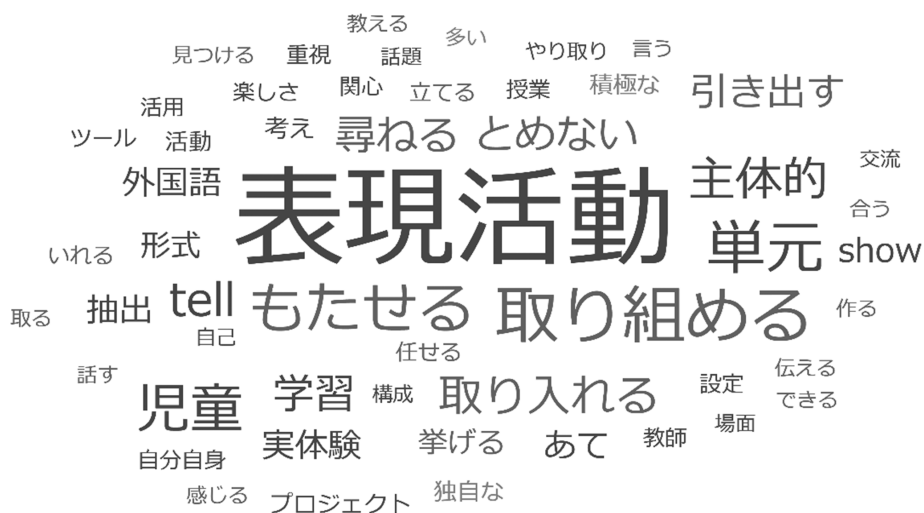


DATA③ 【主体的・対話的で深い学びの観点で工夫・実践されていること】と【指導のしやすい・しにくい学習内容】について（小学校外国語）

「主体的・対話的・深い学び」の観点で工夫・実践されていることについて、自由記述からワードクラウドを作成した※。ワードクラウドでは、スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさに表示している。英語では、スコアが高い単語として、「表現活動」、「取り組める」などがみられた。小学校学習指導要領の目標(2)に「コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。」と示されている。この「コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて」、「自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う」という点において、主体的・対話的・深い学びの観点で工夫・実践がしやすいことが考えられる。

Q 児童・生徒の学力向上において、「主体的・対話的・深い学び」の観点で工夫・実践されていることをお答えください。

Q 授業で指導しやすいと感じる学習内容とその理由を挙げてください。（小学校外国語）



※ユーザーローカル AI テキストマイニングによる分析
(<https://textmining.userlocal.jp/>)

第2章 単独集計：学習内容の観点から

DATA① 【授業で指導しやすいと感じる学習内容】と【指導しにくいと感じる学習内容】について (小学校外国語)

「授業で指導しやすいと感じる学習内容」は、上位3つまで複数回答可で、反応者数30人において、「積極的に尋ねたり答えたりしようとする」と「外国語を聞き、外国語の基本的な表現に慣れ親しむ」が14人(46.7%)、「積極的に聞こうとする」が13人(43.3%)、「外国語で尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ」が12人(40.0%)であった。授業で指導しやすいと感じる理由として、「積極的に尋ねたり答えたりしようとする」に対しては「言語活動に取り組みやすい」が50.0%、「外国語を聞き、外国語の基本的な表現に慣れ親しむ」に対しては「音声や文を正しく理解させやすい」と「具体的な場面や状況の設定がしやすい」が35.7%、「積極的に聞こうとする」に対しては、「具体的な場面や状況の設定がしやすい」が46.2%、「外国語で尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ」に対しては「具体的な場面や状況の設定がしやすい」が50.0%であった。

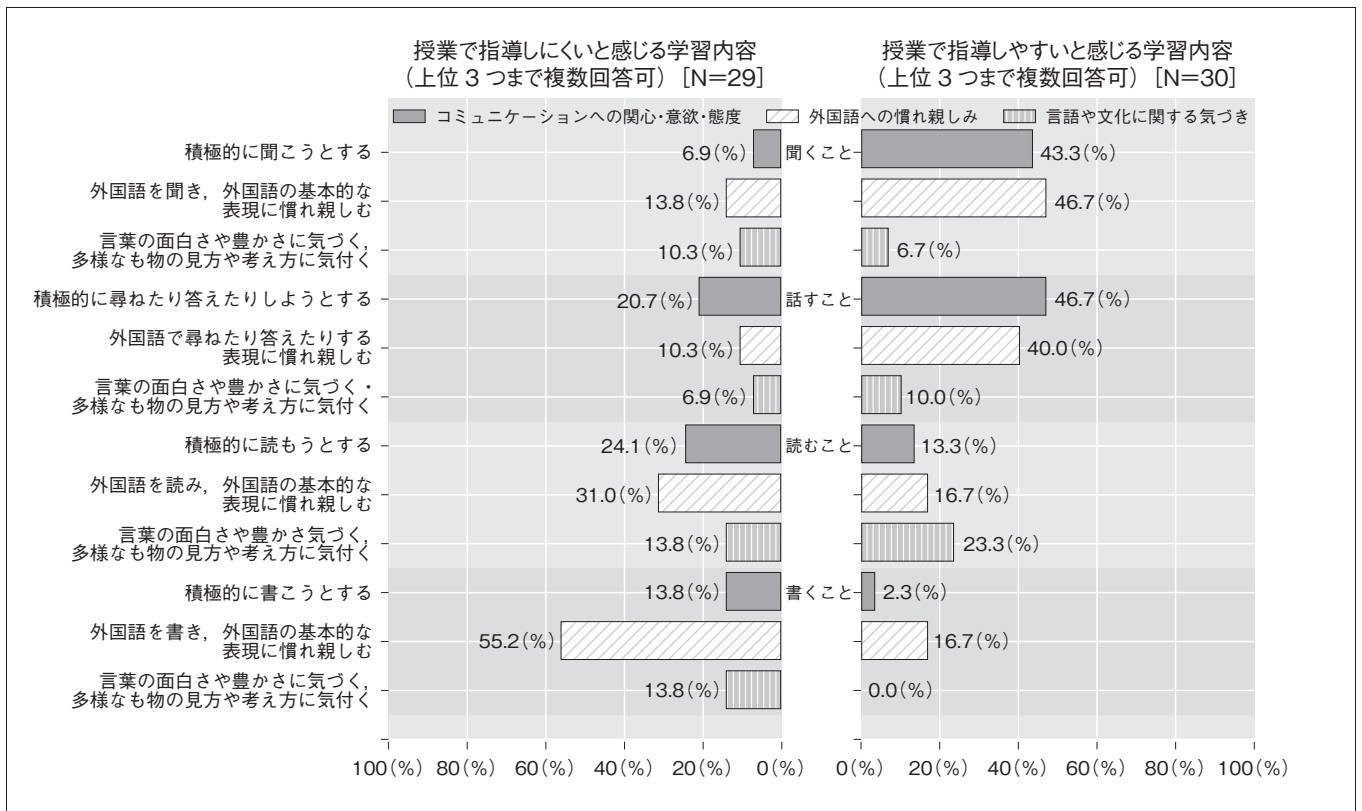
一方、「授業で指導しにくいと感じる学習内容」は、上位3つまで複数回答可で、反応者29人において、「外国語を書き、外国語の基本的な表現に慣れ親しむ」が16人(55.2%)、「外国語を読み、外国語の基本的な表現に慣れ親しむ」が9人(31.0%)、「積極的に読もうとする」が7人(24.1%)、「積極的に尋ねたり答えたりしようとする」が6人(20.7%)であった。

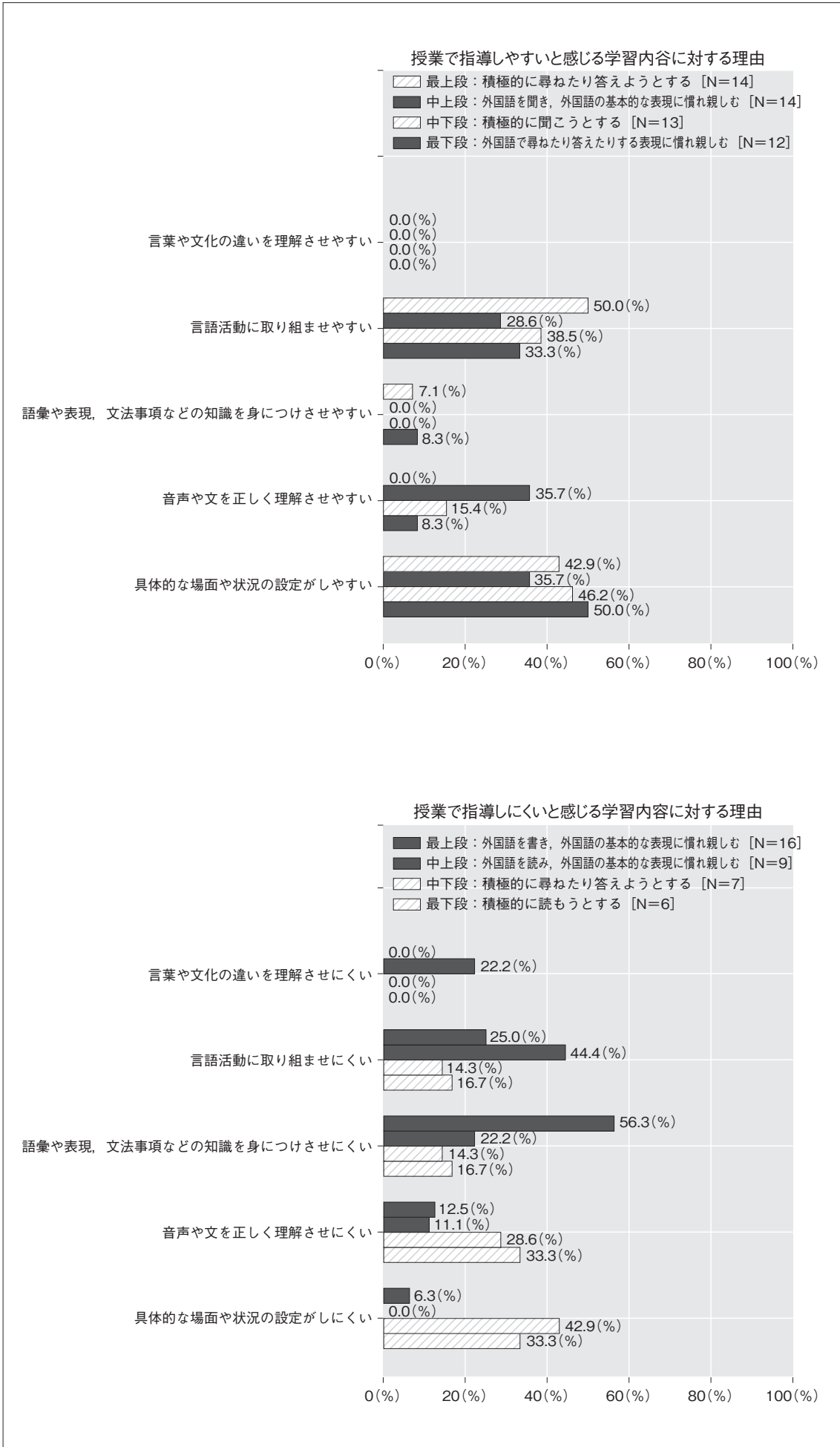
授業で指導しにくいと感じる理由として「外国語を書き、外国語の基本的な表現に慣れ親しむ」に対しては「語彙や表現、文法事項などの知識を身につけさせにくい」が56.3%、「外国語を読み、外国語の基本的な表現に慣れ親しむ」に対しては、「言語活動に取り組みにくい」が44.4%、「積極的に尋ねたり答えたりしようとする」に対しては、「具体的な場面や状況の設定がしにくい」が42.9%、「積極的に読もうとする」に対しては、「音声や文を正しく理解させにくい」と「具体的な場面や状況の設定がしにくい」が33.3%であった。

小学校では、「聞く・話す」指導がしやすく、「読む・書く」指導が難しいと感じられる傾向がある。学習指導要領では、小学校外国語活動では「聞く・話す」、小学校英語では「聞く・話す(やり取り)・(発表)」を指導することになっており、「文字については、児童の学習負担に配慮しつつ、音声によるコミュニケーションを補助するものとして取り扱うこと」と明記されている。そのため、「読む・書く」指導よりも「聞く・話す」指導が重視されており、「聞く・話す」において教師が「指導しやすい」と回答していることは望ましい。

Q 授業で指導しやすいと感じる学習内容とその理由を挙げてください。(小学校外国語)

Q 授業で指導しにくいと感じる学習内容とその理由を挙げてください。(小学校外国語)





「授業で指導しやすいと感じる学習内容」は、上位3つまで複数回答可で、反応者数22人において、「場面や状況に応じて英語で適切に話すことができる」が7人(31.8%)、「英語で書かれた内容を正しく読み取ることができる」、「『聞くこと』の言語活動に積極的に取り組んでいる」と「目的に応じて英語で適切に書くことができる」が5人(22.7%)であった。

授業で指導しやすいと感じる理由として、「場面や状況に応じて英語で適切に話すことができる」に対しては、「具体的な場面や状況の設定がしやすい」が85.7%、「英語で書かれた内容を正しく読み取ることができる」に対しては、「語彙や表現、文法事項などの知識を身につけさせやすい」が60.0%であった。「『聞くこと』の言語活動に積極的に取り組んでいる」に対しては、「言語活動に取り組みやすい」と「音声や文を正しく理解させやすい」が40.0%、「目的に応じて英語で適切に書くことができる」に対しては「具体的な場面や状況の設定がしやすい」が60.0%であった。

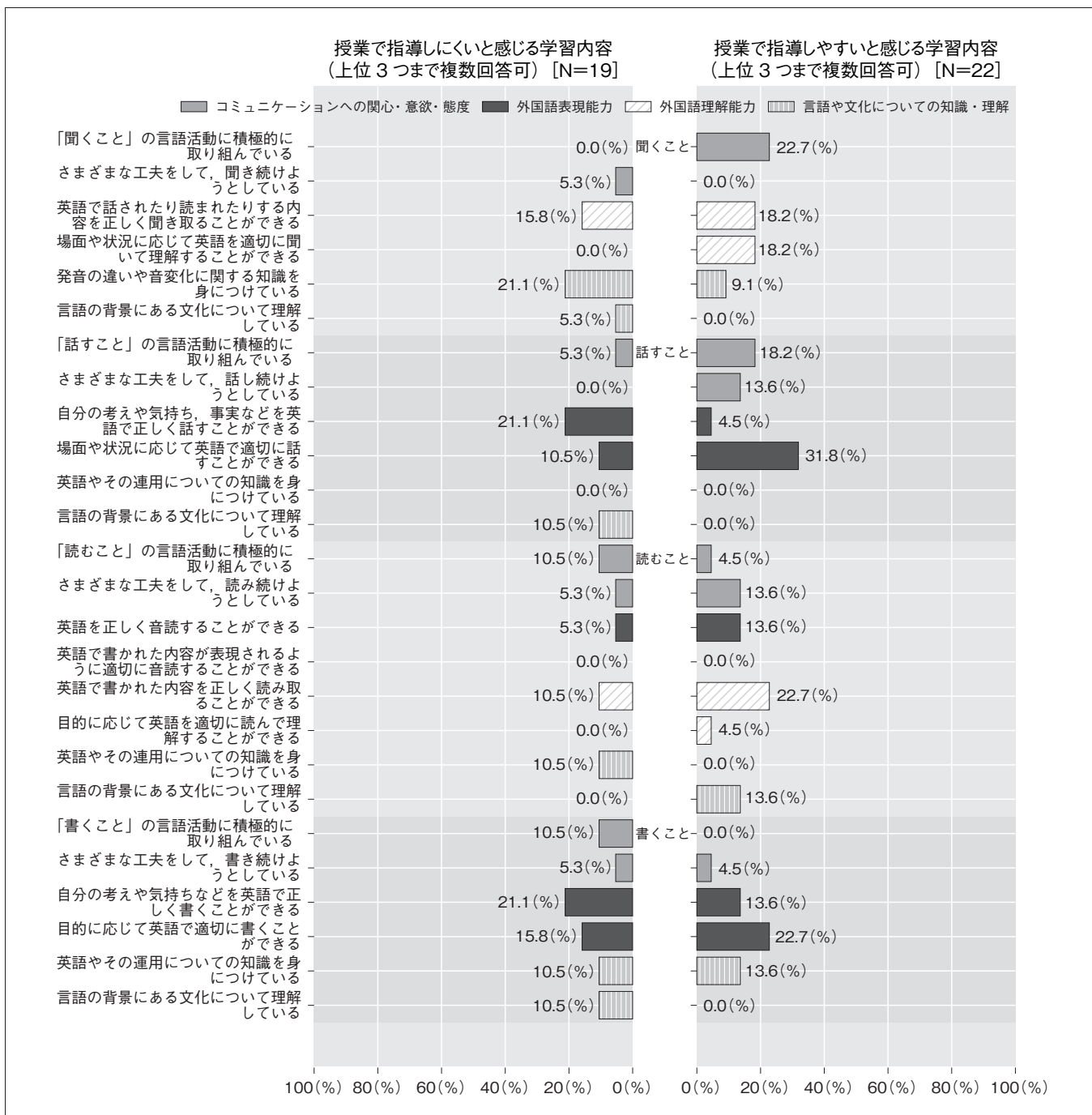
一方、「授業で指導しにくいと感じる学習内容」は、上位3つまで複数回答可で、反応者19人において、「発音の違いや音変化に関する知識を身につけている」、「自分の考えや気持ち、事実などを英語で正しく話すことができる」と「自分の考えや気持ちなどを英語で正しく書くことができる」が4人(21.1%)、「目的に応じて英語で適切に書くことができる」が3人(15.8%)であった。

授業で指導しにくいと感じる理由として「発音の違いや音変化に関する知識を身につけている」に対しては「語彙や表現、文法事項などの知識を身につけさせにくい」と「音声や文を正しく理解させにくい」が50.0%、「自分の考えや気持ち、事実などを英語で正しく話すことができる」に対しては「音声や文を正しく理解させにくい」が50.0%、「自分の考えや気持ちなどを英語で正しく書くことができる」に対しては「語彙や表現、文法知識などの知識を身につけさせにくい」が50.0%、「目的に応じて英語で適切に書くことができる」に対しては、「具体的な場面や状況の設定がしにくい」が100.0%であった。

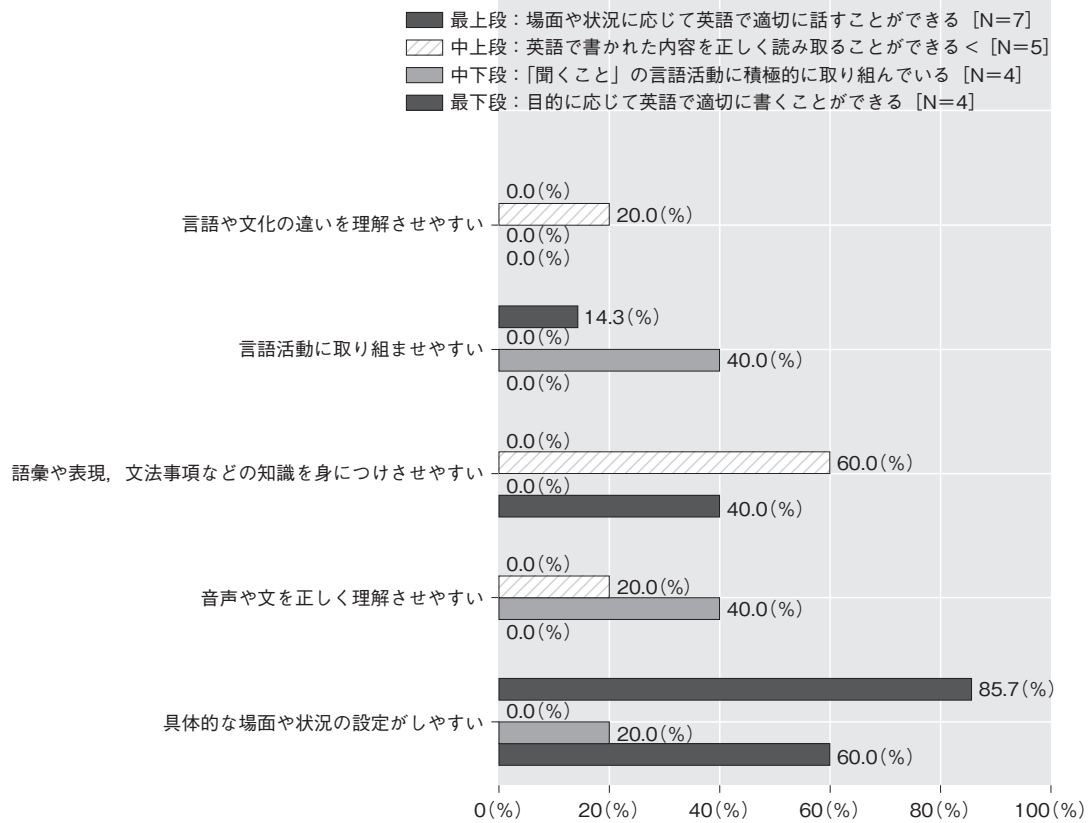
中学校においては、「聞く・話す」に加えて「読む」、「書く」指導もしやすいという回答が見られ、4技能をバランスよく指導していることが示された。一方で、正確に「話す」、「書く」指導に困難を示す傾向がある。『令和5年度全国学力・学習状況調査報告書』(国立教育政策研究所, 2023)では、話すことに関しては、内容伝達に重点を置きながらも正確さに意識を向けるよう指導すること、そして書くことに関しては、読んだことを基に自分の考えやその理由を書く指導や、言語の働きを理解し、場面や状況に応じて表現を使い分ける指導の充実が求められている。

Q 授業で指導しやすいと感じる学習内容とその理由を挙げてください。(中学校外国語)

Q 授業で指導しにくいと感じる学習内容とその理由を挙げてください。(中学校外国語)



授業で指導しやすいと感じる学習内容に対する理由



授業で指導しにくいと感じる学習内容に対する理由

